

肉と魚は、半額時に購入し冷凍

調査前日の食事は、サラダだけ

7割が入浴は週1、2回しか：

「外出しない。ものを買わない。電気や暖房も使わない」。長野県民主医療機関連合会が23日、生活保護受給者の生活実態調査を発表しました。健康で文化的な最低限度の生活が保障されず、人権や尊厳、健康が脅かされている深刻な実態が明らかになりました。

調査は県内民医連加盟の10事業所が訪問聞き取りし、67人から回答がありました。

長野県民医連が発表



記者会見する、(左から)岩須、鮎澤、杉原の各氏
—23日、長野県庁

周囲の目に負い目を感じ、孤独と健康不安にさいなまれ、自殺をほのめかす。会見した医療ソーシャルワーカーの鮎澤(あいざわ)ゆかりさん(諏訪共立病院は、南信地域で出会った50代女性の事例を紹介しました。女性は子ども2人と3人暮らし。アンケートにはこう書き込まれています。

生活保護 不安と孤独

「外食しない。総菜は買わずに自炊。肉魚は半額の時に購入し冷凍。新鮮なものは育ち盛りの娘に食べさせ、自分は娘の食べ残しや、畑で拾った大根の葉、いただいたものを炒めて食べる。調味料は大きいものを購入。定価では買わない」

60代男性単身(C型)女性は入院から10日後(長野中央病院)が出会った北信地域の80代

「生きていきたくない、55%が冠婚葬祭にも「全く参加で考えていた」と鮎澤さん」

医療ソーシャルワーカーの杉原大輔さん

「外食しない。総菜は買わずに自炊。肉魚は半額の時に購入し冷凍。新鮮なものは育ち盛りの娘に食べさせ、自分は娘の食べ残しや、畑で拾った大根の葉、いただいたものを炒めて食べる。調味料は大きいものを購入。定価では買わない」

鮎澤さんはいいます。「病気を治す食事内容とは程遠いと言わざるを得ない」

調査には、「周りから白い目で見られた。友達から『うちの税金、おまえなんかやめろ』という言われ方」

「医療費未払い 受診できない」

女性は喘息(ぜんそく)がひどく、仕事を辞めさせられました。うつを患いましたが、医療費の未払いで診察してもらえません。市役所に行っても「働け」と言われるだけ。2回で、体臭が気にな

地域の行事に参加できない

生活保護受給者の節約の域を超えた生活が、健康で文化的な生活を脅かしています。

「医療費未払い 受診できない」

女性は喘息(ぜんそく)がひどく、仕事を辞めさせられました。うつを患いましたが、医療費の未払いで診察してもらえません。市役所に行っても「働け」と言われるだけ。2回で、体臭が気にな

病院(民医連加盟)のソーシャルワーカーを通じて、生活保護を受けました。当時を振り返

「回答者の69%が地域行事に「全く参加で